

健康管理KPI・施策

分類	No	項目	算出方法	2022年度実績(数値)	2023年度実績(数値)	2024年度実績(数値)	2024年度重点施策(2024年6月)	2024年度の重点施策の振り返り	2025年度計画(数値)	2025年度重点施策
生活习惯病(肥満度)	1	BMI値 25以上(比率)	該当者(HDBダウンロード)÷各社対象受診者数	33.5%	29.0%	29.3%	<ul style="list-style-type: none"> ●運動と食事の両面からアプローチ ・特定保健指導対象者への受診勧奨、社内の各会議で推進をPR ・ウォーキングイベント(歩活甲子園(略称 歩活))への参加による運動習慣の定着化 ・シェアード会社(FFBX)・生協と協業し社員食堂のヘルシーメニュー提供 ●健康に関するインサイトの整備 ・従業員へ有用な情報の提供 ・各種健診補助制度の整理 ・健康管理アプリKencomなど健康管理ツールの紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ●歩活甲子園の展開が運動習慣の定着には寄与できたと考える。しかし、肥満度、糖尿病予備軍の比率は対前年ではほぼ変わっていない。引き続き歩活を中心とした運動習慣の定着と、食事面からのアプローチをさらに強化していく必要がある。 	26%	<ul style="list-style-type: none"> ●運動しやすい環境の整備 歩活甲子園は引き続き全員参加を促し、拠点対抗戦などで歩数を競うことで運動習慣の定着を図る。 また、工場内で運動できる設備を整えたり、近隣のジムと契約するなど、従業員が運動しやすい環境を整備する。 ●ヘルスリテラシー向上に繋げる。 健康経営サイトや学習サイトUdemy/Globis、セミナーなどを活用して健康に関する情報を配信し、リテラシー向上に繋げる。 ●7つの健康行動推進 前年度は役職者に7つの健康行動を率先垂範してもらうよう働きかけを行ったので、今期は一般従業員にも拡大して呼びかけを行う。 ●適正なお酒の飲み方セミナーの開催検討
生活习惯病(糖尿病予備軍)	2	HbA1c 6.0以上(比率)	該当者(HDBダウンロード)÷各社対象受診者数	6.9%	7.8%	8.0%			7%	
生活习惯病(糖尿病予備軍)	3	生活习惯病ハイリスク者の再検/精検受診率(40才以上)	再検/精検受診済人数÷HbA1c6.5以上の要治療該当者数(D判定～)	95.5%	98.3%	100%			100%	
生活习惯病(糖尿病予備軍)	4	生活习惯病ハイリスク者で再検/精検受診済み人数(40才以上)	再検査、精密検査を勧奨だけでなく受診した人数	21	58	79			—	
生活习惯病(喫煙)	5	喫煙率	該当者(HDBダウンロード)÷各社対象受診者数	34.3%	29.0%	29% (27%)	<ul style="list-style-type: none"> ●楽しく取り組める禁煙イベント等の開催 ・チャレンジしやすい後押し策を検討・実施 ・非喫煙者とペアになることで非喫煙者を巻き込み、会社全体イベントで一体感を醸成する ・非喫煙者からの応援によるモチベーション維持 ●FF健保組合の禁煙施策PR (オンライン禁煙・禁煙外来補助・パッチ無料配布) ●役職者へのアプローチ 「7つの健康行動」の理解と実践について、上長・健康経営推進担当者から呼びかけ禁煙に繋げる 	<ul style="list-style-type: none"> ●FFMT全体で禁煙イベントを実施し、一定の成果は得ることができたものの、今期目標の24%には届かなかった。 ●2024/10～12に「禁煙マッチング大作戦」というイベントを実施。喫煙者と非喫煙者がペアとなり、3ヶ月間の禁煙を目指した。439名の喫煙者が登録し、うち39名が3ヶ月完全禁煙を達成。引き続き禁煙に向けたアプローチを行っていく。 ●禁煙ポスターや健康マスクキャラクターの募集を行い、禁煙と健康経営に対する認知度をUPさせることができた。 ●役職者に対しては7つの健康行動の率先垂範をお願いし、「役職者の意気込み」を毎日メールで全従業員に配信した。また、役職者の喫煙者に対しては本部長から禁煙を勧めていただき、一部の役職者は禁煙を決意していただいた。 	24%	<ul style="list-style-type: none"> ●禁煙マッチング大作戦リベンジ、もしくは新たな禁煙イベントを企画、実施する。イベントの企画にあたって、喫煙経験者、特に禁煙したばかりの役職者にアドバイスやアイディアをもらうことで、喫煙者にとって受け入れやすいような工夫をする。 ●製造現場で影響力のある係長層をターゲットとした禁煙キャンペーンの実施。 ●禁煙セミナーの実施 ●若年層向けに禁煙を啓蒙する資料を作成し、毎年、新入社員へ説明する仕組みを作る。 ●役職者向けに健康経営の教育資料を作成し、その中に禁煙についての内容を組み込む。
生活习惯病(喫煙)	6	<実績>禁煙した人数 <計画>禁煙目標人数	<実績>年度内に禁煙した人数 <計画>上記で計画する喫煙率を実現するための禁煙目標人数	—	13	40			71	
生活习惯病(喫煙)	7	管理職の喫煙率	喫煙管理職数(HDBダウンロード)÷各社受診対象管理職数	—	4.4%	3%			0%	
生活习惯病(喫煙)	8	一般職の喫煙率		—	31.2%	28%				
肺がん	9	胸部X線	該当者数÷各社受診対象者数	100.0%	100.0%	100%	<ul style="list-style-type: none"> ●がん検診や、内視鏡検査、婦人科がん検診の広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●胸部X線は昨年に引き続き100%を達成。 ●胃内視鏡、便潜血、婦人科がん検診はいずれも目標まであと一歩。 ●大腸がん健診の再検は残り1名が受診予定となっており達成見込み。 	100%	<ul style="list-style-type: none"> ●1月意向調査アンケート時の受診PR継続 受診率向上に向けた啓蒙活動を行う。社内の会議での周知、インターネットでのPR、一斉メールなど。 早期発見の重要性を知つてもらい、受診率向上に繋げる。
胃がん	10	胃部受診率(X線検査+内視鏡)	(X線検査受診者数+内視鏡検査受診者数)÷40歳以上受診対象従業員数	85.2%	82.9%	84.8%			90%	
大腸がん	11	便潜血	受診者数(HDBダウンロード)÷40歳以上受診対象従業員数	86.3%	91.1%	87.3%			100%	
乳がん	12	乳房	受診者数(HDBダウンロード)÷受診対象女性従業員数	77.1%	88.5%	86.5%			90%	
子宮頸がん	13	子宮	受診者数(HDBダウンロード)÷受診対象女性従業員数	65.0%	82.2%	77.4%			90%	
大腸がん	14	大腸がん検診(便潜血)陽性者の再検/精検受診率	再検/精検受診済人数÷便潜血陽性該当者数	97.5%	93.8%	99%			100%	
大腸がん	15	大腸がん検診(便潜血)陽性者の再検/精検受診人数	再検/精検受診済人数	39	75	69			—	
大腸がん	16	大腸がん検診(便潜血)陽性者の大腸内視鏡による再検/精検受診率	大腸内視鏡による再検/精検受診済人数÷便潜血陽性該当者数	97%	71%	85%			—	
大腸がん	17	大腸がん検診(便潜血)陽性者の大腸内視鏡による再検/精検受診人数	大腸内視鏡による再検/精検受診済人数	36	57	51			—	
メンタル疾患	18	休業率(一週間以上積休/欠勤)	メンタル休業1週間以上(曇日(連続)7日以上、休暇・欠勤・休職問わず全ての休業を含む)の延べ人数÷4/1時点(期首)の従業員数	1.0%	1.5%	1.0%	<ul style="list-style-type: none"> ●ストレスチェック集団分析後の施策 職場環境改善を職場と協業して行い、相談窓口の充実をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ストレスチェック実施後、各拠点人事と職場で協力して職場環境の改善を図り、メンタル休業者の削減に繋げてきたが、目標値にはあと一步届かなかった。 	0.8%	<ul style="list-style-type: none"> ●ストレスチェック後の職場環境改善は引き続き、各職場と協働して進めます。 ●睡眠教育、アサーション研修などを企画し、メンタルヘルスへの情報提供を行う。
長時間労働	19	長時間労働人数(80H以上/月) (基準労働時間超過のべ数)	所定外労働が単月80H以上の延べ人数(管理職・裁量労働を含む全従業員)	0	0	0			0	
長時間労働	20	80H未満/月で健康リスクがある従業員に対する未然防止策	自社の未然防止策をご記入ください 例:×月残業xxx時間以上の従業員に対し疲労度アンケートを行い、面談希望者および疲労度総合判断(評価)6点以上に対し産業医面談を行う	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月の過労労働実績を各製造本部運営会で報告、長時間労働の未然防止と早期対策を実施 上長/産業医/総務が連携。業務体制の見直し等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●過労労働時間については各拠点で実績を管理しており、36協定の順守を各拠点で徹底することで長時間労働の抑制に努めている。現状の体制で大きな問題はない。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月の過労労働実績を各拠点の安全衛生委員会などで報告し、長時間労働の未然防止と早期対策に繋げる。
健康保険組合や労働組合との協同	21	7つの健康行動の実践 歩活参加率(歩活甲子園)		—	84.7%	99%			100%	<ul style="list-style-type: none"> ●前年同様、健康経営グループが主体となって歩活甲子園を推進していく。 ●歩活甲子園については前年度に引き続き製造本部対抗戦や各拠点での盛り上げ施策などを行い、従業員にPRした結果、登録率はほぼ100%近くまで達し、平均歩数も全社で5位と、FFMTでは定着したと言える状況。 「春の歩活(5月開催)」 平均 8,093歩/日 参加率86.8% 関連支出 81,641円 「秋の歩活(11月開催)」 平均 8,467歩/日 参加率99.0% 関連支出 587,906円
	22	7つの健康行動の実践 「週に1回以上、体重をはかる」「1日6時間以上の睡眠をとる」		—	—	—			—	<ul style="list-style-type: none"> ●7つの健康行動のアンケート実施 年2回程度、全従業員に向けて7つの健康行動の実施状況についてアンケートを行うことで、従業員に意識付けをおこなう。 ●役職者の睡眠に関するリテラシー向上を企画する